

(1) 1995年(平成7年)9月1日(金曜日)



## 社説

① 転県問題：対馬の福岡転県運動の歴史は古い、古来から経済圏の福岡、行政は長崎で不合理不自然を是正は当然としての転県運動も過去を省みて困難なことは歴然である。然し根気強く採り上げる

革、地方分権の趣旨で地方庁の如きものの実現を目指す発言、遠からずそのような構図で

府県統合、九州庁が実現するであろうことを期待したい。

② 対馬郡を：対馬郡に統一問題が再燃しないことを不

吉社  
長崎県下町原原馬新  
郡合資会社  
郵便番号 817

電話 09205 ② 0235  
発行人 三山 忠  
毎週金曜日発行

印刷／販賣原印刷所  
購読料 1ヶ月1,000円  
(郵送料共)  
振替口座 01570-4-33895  
十八銀行対馬支店 10040  
親和銀行対馬支店 24600

## 夢を追う六題

思議に思う。上原地区の反対理由は県議選挙関係を顧慮が主因と選挙区は統一された、現にこの際再度採り上げて正規な手続きで与論調整、速やかに対馬郡実現を提議する。

③ 日本海側で青函トンネルや英仏海峡トンネル完通能実施母体が未確定、遠い夢とは思うが近い将来に実現の夢を続けられる。

④ 觀光について：韓国から奄岐へ対馬へ韓國へ

今までしばしば提言を続ける観光についてそのルートの変化、進歩

トネル構想、はじまり状況、去る五月の上見坂展望台—小茂田浜古戦場—椎根石屋根鉱山跡を組み入れては

が直ぐにも反論が：か

つてのカドミ公害前科？であろう可否両論はあろうが研究検討方を提言する。(5)風力発電所：天気予報で対馬地方は風注意報などの出ない日は珍しい位である。前々から馬鹿の一つ覚えのように地の利を活かし「対馬に風力発電所」と提唱し続

けた実用化と併せ観光資源にも奏功をとの夢である。沖縄電力が宮古島に委託実験用既設二基に新たに三基の風力発電機増設するほかさらに年度内に独自で十基増設を発表し大きく期待される。先般九電モニター会議で発言したが全く望みなしとは言われなかつた。困難性は予想されるが近い将来対馬に風力発電所実現の夢は捨てない。

⑥ 佐須坂トネル：昭和三十一年九月町村合併条件として未だ日の目を見ないがあれから三十年の長い夢、最近内閣の一閣僚は行政改